

保護者の皆様

上田市立第四中学校長 宮澤 好一

令和元年（平成31年）度 学校自己評価（最終報告）

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、皆様にご協力いただきました「学校自己評価」の結果がまとまりました。ここに報告させていただきます。生徒アンケート・保護者アンケートをもとに、私ども教職員も自己評価を実施し、その結果を考察して、指導改善の方向を導き出しました。今後も生徒のさらなる成長を、教職員一丸となって支援していく所存です。

なお、今後とも保護者の皆様の、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

授業の内容が分かりやすい。

「授業の内容が分かりやすい」と感じている生徒が前期、後期を通じて8割を越えています。後期に関しては、「あまり思わない」生徒が5%増え、前期にくらべ少しずつ学習が難しくなってきたことも影響しているかと思えます。また、「授業が分かりやすい」と感じている保護者は6割にとどまり、2割の開きがあることから、授業を参観していただく機会や、様子をお伝える機会が少なかったことも起因しているのではないかと考えられます。今年度も、「主体的・対話的な学び」を重視した具体的な取り組みとして、ホワイトボードを使った、ペアやグループ活動なども授業に取り入れてきました。来年度は、単元テストを導入し、細かいスパンで生徒達の躰きをみつけ、指導をしていく中で「分かりやすい授業」に近づけていきたいと考えています。今後も一人一人が主体的に学べるような工夫をしてまいります。



「自分のよさ」や「友のよさ」を理解し、自己肯定感を養う。

概ね達成できたと回答した生徒が前期、後期を通じて8割に達しています。生徒間で友の良さを理解し、良好な人間関係を築こうとしている様子が伺えます。保護者に対しては、「良さを認め、生徒のやる気を引き出している」に対して「概ね思う」という回答が、前期に比べ8.5%アップの78%と、日頃からの取り組みが評価され、少しずつではありますが、全体的に浸透してきていることが伺えます。これからも、生徒の良さを積極的に本人や保護者の皆様に伝えていくことができよう工夫を継続し、今まで以上に生徒の自己肯定感が高まるような指導を続けてまいります。



「学校」「地域」「PTA」との連携。PTA活動への取り組み。

学校と家庭の連携について、後期は8割を越え、前期に比べ7%程増えています。学校職員間でも「確実な報告・連絡・相談」についての回答が「概ね達成できた」が100%となっています。速やかに情報を共有し、チームで対応していく事に対して強く意識していたことがわかります。そのことが保護者の「教職員は親身になって生徒のことを考えている」の回答が、後期3.8%アップの85%になっていることにもつながったのではないかと考えます。今後も家庭と学校の風通しを良くし連携を密にしてまいります。

「PTA活動」につきましては、年2回の親子PTA作業、バザーなどの諸活動に加え、PTA親子人権講演会、文化祭、部活動の壮行会等の学校行事にも大勢の保護者の皆様に参加していただき、学校教育のためにご尽力をいただきました。

また、四中区で今年度からはじまりました、グッドメディアデーへの取り組みにもご協力いただきました。今後とも生徒と一緒に考える雰囲気をつくってまいります。



学校へ行くのが楽しみ。

学校へ行くのが「楽しみ」と回答した生徒が前期、後期を通じて8割で概ね良好と思われれます。前期に比べ、若干そう思わない、分からないが2%程増加したり、「楽しみにしている教科や得意として教科がある」の割合が5%程落ちたりしています。部活動についても積極的に取り組める生徒の割合も8%程減っています。保護者の回答についても、前期、後期を通じて8割を越えています。前期に比べると4%程下がりました。学校生活の様子を細かにみていくことや、教育相談等で生徒と対話しながら、原因やそれを解決する方法など、一緒に考える立場でサポートしていきたいと考えています。また、必要な生徒については支援会議等で保護者や関係者との連携を密にしながら生徒がやりがいや楽しみをもって学校生活を送れるよう、引き続き取り組んでまいります。



「(心に)届くあいさつ」ができています。

「あいさつ」について、できると回答した生徒は、後期4%減の75%に減少しました。「挨拶」はできるが「自分から進んで」というところが弱くなってきている現状が反映されています。今年度の生徒会では、月1回、生徒会役員による毎月曜朝の「挨拶運動」や、地域活動として「城下あいさつ・声がけ運動」、部活での声がけなど、「あいさつ」を意識した取り組みをしました。昨年度と比べると「挨拶ができる」割合は上がっており、「四中生のあいさつが良くなってきた」という地域の方からの声もいただいております。今後も引き続き人と人との基本的なコミュニケーションとしての大切さを指導しながら、生徒の心を育てる教育を充実させていきます。学校でも取り組んでまいりますので、ご家庭でも、生徒が進んであいさつができるような声がけをお願いします。

